

第2回水と緑の森づくり会議 (H27.11.4) 議事概要

1. 4～10月の水森事業の報告について

○舟木委員

- ・森林活動サポーターに登録される条件はあるのか？派遣の申し込みはサポートセンターに直接するのか？サポーター派遣の需要はたくさんあると思うが、周知されていないと思う。

→ (事務局) サポーターの登録条件は森林インストラクターや樹木医、自然観察指導員などであること。派遣申し込みはサポートセンターが担当している。県のホームページにサポートセンターへのリンクは貼ってあるが、今後周知の機会を増やすようにする。

○横山委員

- ・大田市森林組合の担当エリアで、再生の森事業の事業対象地は残っているのか？他の森林組合では対象地が減少してきていると聞く。

→ (大田市森林組合藤本課長補佐) 木を伐って使う流れの中で、利用間伐の業務が増加しているが、地理的条件が悪く道をつけられない施業地では再生の森事業を使っている。

(事務局) 昨年度の事業体への聞き取りで、今後5年間、県全体で600～700ha/年の事業要望が出された。管理道をつけて伐採できるメニューもある。

- ・再生の森事業の竹林伐採の施業跡地について、事業後のフォローはどうしているのか？

→ (事務局) 竹林整備については、1回伐採するだけの計画は採択していない。自治会や森林所有者等が継続して管理する計画を採択している。

○大久保委員

- ・再生の森事業の切り捨て間伐事業の委託費は、施業地の林況にかかわらず一定なのか？急傾斜地は単価が上がったりしないのか？

→ (事務局) 単価はhaあたりで一律。事業費が安く上がればそれが上限となり、超過すれば森林所有者の手出しになる。

- ・みーもサマースクールについて、西部で取り組まれていることをはじめて知った。地元民も知らないなので、周知方法を工夫してはどうか？

→（事務局）益田では、みーもサマースクールに昨年度初めて取り組まれ、実績が少ないため知っている人が少ないのかもしれない。東部では周知もされて毎年非常に人気の取組。参加者募集は新聞広告（県民だより）に載せているが、来年度からは水森委員にも募集の案内を出すので周知にご協力いただきたい。

○鈴木委員

- ・みーもの森づくり事業の西ノ島町教育委員会の取組は、今年度事業のみで机の数を揃えられたのか？

→（事務局）査定によって補助金のみでの購入はできなかったが、残りは自力で購入して数を揃えたとのこと。

○藤原委員

- ・みーもスクールについて、NPOの活動がマンネリ化しつつあるため、県外で同様の取組み事例があれば教えてほしい。

→（事務局）情報提供する。

○村上委員

- ・資料にある間伐材の価格が安く感じるが、建築用材価格なのか？

→（事務局）資料の価格はH13年のもの。製品 1 m³単価に割り戻すと45千円くらいになる。